

平成28年(2016年)11月15日 火曜日 (26)



県代表として科学の甲子園に出場する
松本秀峰チームのメンバー

秀峰「科学甲子園」で全国へ

県で初優勝 5年生8人闘志燃やす

松本市の松本秀峰中等教育学校の5年生(高校2年生)の男子生徒有志8人でつくるチームが、数学と理科学の甲子園全国大会の県大会で初優勝し、来年3月に茨城県で開催される全国大会への出場を決めた。強豪との戦いに向けて、さらに闘志を燃やしている。

12日に松本市内で県大会が行われ、出場19チームの頂点に立つた。選手は上嶋優太君(17)、小林祐希君(16)、塩原慧介君(17)、松田優樹君(17)、三沢竜太郎君(16)、水橋大瑠君(17)、田中葵君(17)、角田光君(16)の8人で、10月にチームを結成して準備を進めた。

県大会は筆記と実技(実験)の2競技で、総合点で順位を競った。君と角田君は補欠として仲間を後押しした。

出題された問題には、

れる形でもろ差しにな

松本市城西2の古民家ゲストハウス・パツ

27日に松本で落語会「松宿亭」

(北原 哲)

11月15日は「いい遺言

った。地学担当の塩原君は「勉強していなかった分野が出題されたけれど、仲間のフォローで乗り切ることができた」と喜ぶ。全国大会には8人全員が出場する。生物担当の松田君は「これまでの県勢の記録を上回る成績を残したい」と意気込んでいる。